

リプロダクティブヘルス分野

論文

A 欧文

A-a

1. Ohnishi M, Leshabari S, Ambikile JS, Oishi K, Nakao Y, Nishihara M: Associations among anthropometric measures, food consumption, and quality of life in school-age children in Tanzania. *Journal of Rural Medicine* 12(1): 38-45, 2017
2. Niwayama R, Nishitani S, Takamura T, Shinohara K, Honda S, Miyamura T, Nakao Y, Oishi K, Araki-Nagahashi M: Oxytocin Mediates a Calming Effect on Postpartum Mood in Primiparous Mothers. *Breastfeed Med* 12:103-109, 2017 (IF: 1.551)
3. Hatanaka, A, Eto H, Yamaguch Y, Sakamoto H, Kondo H: Prevalence and clinical features of restless legs syndrome among Japanese pregnant women without gestational complications. *Sleep and Biological Rhythms*, 15(2), 183-186, 2017, DOI: 10.1007/s41105-016-0086-2 (IF: 0.588) (IF: 0.588)
4. Kataoka Y, Masuzawa Y, Kato C, Eto H: Maternal and neonatal outcomes in birth centers versus hospitals among low-risk pregnancies in Japan: A retrospective cohort study. *Japan Journal of Nursing Science*, 15, 91-96, 2018. doi:10.1111/jjns.12171 (IF: 0.554)

A-d

1. Ohnishi M, Tanaka J, Nishihara M, Lee JY, Go HN, Morifuji K: A study on undergraduate nursing students' perspective of healthcare provision for foreign nationals: a survey on Japanese and Korean university students. *Health Science Research* 30: 1-10, 2017

A-e

1. Fukui T, Eto H, Takada M, Horiuchi S, Oishi T, Imoto H, Toishi K, Hayakawa H, Yamanishi M, Okamoto K, Kasai K, Haruna M, Murata S, Imura M, Murakami A, Sato K, Muranaka M: Collaborative system development by midwifery-related associations to enhance practical ability of Japanese midwives. 31st Triennial Congress, ICM (International Confederation of Midwives), Final Programme, ICM 31st Triennial Congress, p163
2. Nishihara K, Eto E, Horiuchi S: Influences of fetal movement on a pregnant woman's sleep: Using fetal movement acceleration measurement recorder, *Journal of Sleep Research*, Vol26, S1, p47 DOI: 10.1111/jsr.38_12619

B 邦文

B-a

1. 手島美聡, 大石和代, 永橋美幸, 中尾優子: 産褥早期における直接授乳前後の乳腺組織の厚さの変化—超音波画像を用いて—. *日本助産学会誌* 31(1): 71-77, 2017
2. 山本直子, 永橋美幸, 大石和代: 乳幼児を持つ母親の精神的健康と医学的社会的特徴—4か月児を持つ母親と4~6歳児を持つ母親の比較. *母性衛生* 58(1): 100-107, 2017
3. 山本直子, 永橋美幸, 大石和代: 乳幼児を持つ女性の精神的健康と関連する要因—女性の食生活習慣に着目して—. *母性衛生* 58(1): 142-150, 2017
4. 山本直子, 松本 彩, 永橋美幸, 江藤宏美, 大石和代: 在日女子留学生の月経前症候群に関連する医学的社会的要因の検討. *母性衛生* 58(2): 287-295, 2017
5. 浅野浩子, 中込さと子, 終中智恵子, 佐々木規子, 小笹由香: 新生児看護領域の高度実践看護師のための遺伝看護ケアの学習課題に関する質的研究. *日本遺伝看護学会誌* 15(2): 68-76, 2017
6. 浅野浩子, 中込さと子, 終中智恵子, 佐々木規子, 小笹由香: 母性看護領域の高度実践看護師のための遺伝看護ケアの学習課題に関する質的研究. *日本遺伝看護学会誌* 15(2): 77-86, 2017
7. 佐々木規子, 中込さと子: 就学準備期から就学期の Prader-Willi 症候群児の健康管理に関する記述研究. *日本遺伝看護学会誌* 16(1): 49-58, 2017

B-c

1. 江藤宏美: 赤ちゃんの生活リズム. (日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会編: 家族のためのディベロップメンタルケア読本, メディカ出版, 大阪, pp.58-59 所収) 2017
2. 江藤宏美: 新生児期のケア技術, 4. 出生後 1 か月. (堀内成子 (編集): パーフェクトガイド 臨床実習ガイド 母性看護実習ガイド第 2 版, 照林社, 東京, pp. 255-260 所収) 2017
3. 近藤達郎, 今村 明, 森藤香奈子, 中根秀之, 森内浩幸: 精神医学症候群 (第 2 版) I—発達障害・統合失調症・双極性障害・抑うつ障害—I 神経発達症候群/神経発達障害群 Down 症候群. (別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ, No.37, pp. 133-138 所収) 2017

B-d

1. 松井香子, 松村悠子, 新谷隆弘, 佐々木規子, 加藤千穂, 永橋美幸, 宮原春美, 大石和代, 赤星江美, 野間田真紀子, 江藤宏美: 「生き生きと働く実践力のある助産師キャリアアッププログラム」実践報告 2015. 保健学研究 29: 97-104, 2017
2. 大西真由美, 大石和代: 2015 年度ヨーロッパ (英国・オランダ) 保健学研修報告. 保健学研究 29: 105-110, 2017
3. 森田真理子, 佐々木規子, 坪田幸子, 宮原春美: 脳性麻痺をもつ児の母親の産科医療補償制度に対する認識. 保健学研究 30: 47-52, 2017
4. 中村優子, 坂瀬明世, 林 敦子, 本多 優, 吉田恵理子, 森藤香奈子: 当病棟の小児在宅支援における訪問看護師と病棟看護師の情報共有のあり方に関する検討. 保健学研究 29: 43-49, 2017
5. 本多直子, 森藤香奈子, 宮原春美: 思春期にある慢性疾患患者の復学支援に関する課題について一質的文献の検討から一. 保健学研究 30: 59-65, 2017
6. 吉田浩二, 辻麻由美, 原田文子, 大山祐介, 竹嶋純平, 宮原春美: 看護学生のエイジズムに関する研究. 保健学研究, 30: 39-46, 2017

B-e

1. 増澤祐子, 馬場香里, 片岡弥恵子, 江藤宏美: 妊娠後期女性のパートナー・子どもへの怒りの対処方法. 第 31 回日本助産学会学術集会日本助産学会誌 30(3): 599, 2017
2. 片岡弥恵子, 増澤祐子, 加藤千穂, 江藤宏美: 東京都内の助産所と病院の周産期アウトカムの比較[2001-2008 年]. 第 31 回日本助産学会学術集会日本助産学会誌 30(3): 577, 2017
3. 飯田真理子, 田所由利子, 江藤宏美: エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期 2016 ポイントの解説. 第 73 回公益社団法人日本助産師学会抄録集 62-63, 2017
4. 江藤宏美, 片岡弥恵子: 妊娠後期女性の子どもへの怒りの対処方法と関連因子. 第 73 回公益社団法人日本助産師学会抄録集 18, 2017
5. 西原京子, 江藤宏美, 堀内成子: 妊婦の睡眠中に使用されるオリジナル胎動記録・解析装置の睡眠研究への応用. 日本睡眠学会第 42 回定期学術集会プログラム・抄録集 208, 2017
6. 岩本愛美, 松尾幸美, 近藤英明, 大木 昇, 福壽美月, 井上和美, 陣内ちさ, 江藤宏美, 和泉元衛: 静電容量型 3 軸加速度計を用いた周期性下肢運動パラメータの特徴. 日本睡眠学会第 42 回定期学術集会プログラム・抄録集 226, 2017
7. 松尾幸美, 岩本愛美, 近藤英明, 大木 昇, 福壽美月, 井上和美, 陣内ちさ, 江藤宏美, 和泉元衛: 静電容量型 3 軸加速度計を用いた周期性下肢運動の検出. 日本睡眠学会第 42 回定期学術集会プログラム・抄録集 184, 2017
8. 江藤宏美, 近藤英明: レストレスレッグス症候群の評価における日本語版 Cambridge-Hopkins 質問票 13 の開発. 日本睡眠学会第 42 回定期学術集会プログラム・抄録集 185, 2017
9. 村川 恵, 高比良純子, 山崎千穂, 白石真奈美, 橋村 愛, 小橋川直美, 柘植久美, 加藤千穂, 江藤宏美: 地域周産期母子医療センターにおける母体搬送の実態調査. 第 30 回長崎県母性衛生学会総会・学術集会プログラム 12, 2017
10. 梅野志帆, 江藤宏美: NICU における疼痛刺激を伴う処置と state の変化. 第 17 回日本赤ちゃん学会学術集会プログラム・抄録集 103, 2017
11. 田中希実, 江藤宏美: 妊娠中期以降の妊婦における夜間の胎動の推移. 第 17 回日本赤ちゃん学会学術集会プログラム・抄録集 94, 2017
12. 阿部莉子, 江藤宏美: 早産児の早期睡眠発達の推移とその影響因子について. 第 17 回日本赤ちゃん学会学術集会プログラム・抄録集 92, 2017
13. 増澤祐子, 堀内成子, 浅井宏美, 飯田真理子, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 田所由利子, 八重ゆかり: 妊娠期の助産ケア助産実践のための妊娠期ガイドラインの作成 会陰裂傷予防のための効果的な方法は? 第 58 回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生 58(3): 185, 2017
14. 飯田真理子, 田所由利子, 浅井宏美, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 増澤祐子, 八重ゆかり, 堀内成子: 分娩期の助産ケア助産実践のための分娩期ガイドラインの作成 微弱陣痛による分娩進行異常に人工破膜は有効か. 第 58 回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生 58(3): 281, 2017
15. 江藤宏美, 飯田真理子, 増澤祐子, 田所由利子, 浅井宏美, 片岡弥恵子, 八重ゆかり, 堀内成子: 分娩期の助産ケア助産実践のための分娩期ガイドラインの作成: 乳房・乳頭刺激は分娩誘発の効果があるか? 第 58 回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生 58(3): 281, 2017
16. 松永友紀, 江藤宏美: 妊娠末期の妊婦の腰痛の実態と対処行動および分娩との関連. 第 58 回日本母性衛生学会学術

集会, 母性衛生 58(3): 274, 2017

17. 白石真奈美, 高比良純子, 村川 恵, 山崎千穂, 小橋川直美, 柘植久美, 加藤千穂, 江藤宏美: 高齢初産婦を対象とした地域周産期母子医療センターにおける周産期データのレトロスペクティブ研究. 第 58 回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生 58(3): 282, 2017
18. 高比良純子, 白石真奈美, 村川 恵, 山崎千穂, 小橋川直美, 柘植久美, 加藤千穂, 江藤宏美: 臍帯動脈血ガスと周産期アウトカムのレトロスペクティブ調査. 第 58 回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生 58(3): 283, 2017
19. 馬場季菜, 近藤英明, 江藤宏美, 加藤千穂: 妊娠糖尿病におけるレストレスレッグス症候群の実態. 第 33 回不眠研究会抄録集 10, 2017
20. 上片さくら, 近藤英明・江藤宏美・加藤千穂: 女性看護師のレストレスレッグス症候群, 第 33 回不眠研究会抄録集 9, 2017
21. 釘宮里佳, 永橋美幸: 初産婦へのレオポルド触診法がセルフケア行動の内発的動機づけに与える効果. 日本助産学会誌 30(3): 600, 2017
22. 森藤香奈子, 富永優奈, 新谷友望, 渡名喜美香子, 永野明子, 永井真理子, 川越明日香, 佐々木規子, 宮原春美, 松本正: 大学生に対する遺伝教育ー出生前診断に対する意思決定の疑似体験を通してー. 第 16 回日本遺伝看護学会学術大会, 日本遺伝看護学会誌 16(1): 34, 2017
23. 森藤香奈子, 富永優奈, 新谷友望, 渡名喜美香子, 永野明子, 永井真理子, 佐々木規子, 宮原春美, 松本正: 大学生に向けた遺伝教育プログラムの開発- 出生前診断に関する意思決定の学習ツール-. 日本人類遺伝学会第 62 回大会, 日本人類遺伝学会第 62 回大会抄録集 283, 2017
24. 佐々木規子, 原田菜実, 増元美咲, 永野明子, 渡名喜海香子, 永井真理子, 船本貴之, 森藤香奈子, 松本 正, 宮原春美: 幼児に対する遺伝教育プログラム開発の試み. 日本遺伝カウンセリング学会誌 38(2): 87, 2017
25. 渡名喜海香子, 森藤香奈子, 佐々木規子, 松本 正, 三浦清徳, 増崎英明, 宮原春美: NIPT を受検した夫婦の経験 -NIPT 受検検討から結果開示まで-. 日本遺伝看護学会誌 16(1): 30, 2017
26. 佐々木規子, 原田菜実, 増元美咲, 永野明子, 渡名喜海香子, 永井真理子, 船本貴之, 森藤香奈子, 松本 正, 宮原春美: 幼児に対する遺伝教育プログラムの実施と評価. 日本遺伝看護学会誌 16(1): 35, 2017
27. 松本 恵, 畑地登志子, 大坪竜太, 矢野 洋, 崎村千香, 久芳さやか, 山之内孝彰, 三浦生子, 長谷川ゆり, 増崎雅子, 三浦清徳, 佐々木規子, 月川弥生, 江口 晋, 増崎英明, 永安 武: 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群診療の現状と展望. 日本外科学会定期学術集会抄録集 PS-241-3, 2017
28. 中込さと子, 野間口千香穂, 小笹由香, 佐々木規子, 荒木奈緒, 山下浩美, 藤田みどり, 青木美紀子, 玉置知子, 福嶋義光: 看護職者に向けた遺伝看護セミナーの活動報告. 日本遺伝カウンセリング学会誌 38(2): 144, 2017
29. 松竹ゆには, 宮原春美, 永橋美幸: 高校生における月経教育が月経痛に対するセルフケアの変容に与える効果. 日本助産学会誌 30 (3) : 587, 2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	0	4	24

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大石和代・教授	評議員	日本熱帯医学会
大石和代・教授	長崎いのちを大切にする会 顧問	NPO 法人
大石和代・教授	長崎県総合公衆衛生研究会 役員	長崎県
宮原春美・教授	長崎県感染症対策委員会エイズ・性感染症専門部会	長崎県
宮原春美・教授	長崎県母性衛生学会常任理事	長崎県母性衛生学会

宮原春美・教授	長崎県看護協会学会誌査読委員	長崎県看護協会
宮原春美・教授	長崎県小児保健学会幹事	長崎県小児保健協会
宮原春美・教授	遺伝カウンセリング・ジャパン理事	遺伝カウンセリング・ジャパン
江藤宏美・教授	理事、日本助産学会誌編集委員会（委員長）	一般社団法人日本助産学会
江藤宏美・教授	ガイドライン委員会（委員）	一般社団法人日本助産学会
江藤宏美・教授	英文誌編集委員会（委員長） Japan Journal of Nursing Science, Associate editor	公益社団法人日本看護科学学会
江藤宏美・教授	事務局長	一般財団法人日本助産評価機構
江藤宏美・教授	理事（助産実践評価部・助産教育評価部担当）	一般財団法人日本助産評価機構
江藤宏美・教授	理事	長崎県母性衛生
江藤宏美・教授	国立大学教育評価委員会専門委員	大学評価・学位授与機構
江藤宏美・教授	大学における看護系人材養成の在り方に関する 検討会委員	文部科学省高等教育局
江藤宏美・教授	雑誌「看護科学研究」編集委員	大分県立看護科学大学看護研究交流センター
江藤宏美・教授	雑誌「ペリネイタルケア」編集委員	メディカ出版株式会社
永橋美幸・准教授	幹事	長崎大学助産師同窓会
永橋美幸・准教授	理事	一般社団法人長崎県助産師会
永橋美幸・准教授	理事	公益社団法人全国助産師教育協議会
永橋美幸・准教授	日本助産学会誌 専任査読委員	一般社団法人日本助産学会
森藤香奈子 ・准教授	幹事	長崎県小児保健協会
森藤香奈子 ・准教授	倫理委員会委員	社会福祉法人聖家族会みさかえの園総合発達 医療センターむつみの家
森藤香奈子 ・准教授	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
森藤香奈子 ・准教授	長崎市子育て支援センター相談員	片淵地区もりのくれよん 住吉地区びよびよ
森藤香奈子 ・准教授	遺伝・染色体のこと知って話して理解し合う交 流会 講師	1q 部分重複症候群患者家族会（ひとやすみの 会）
本多直子・助教	子育て支援センター内での育児相談業務	長崎市子育て支援センター：びよびよ，もりの クレヨン，ひなたぼっこ
本多直子・助教	日本遺伝看護学会第 17 回学術大会 実行委員	日本遺伝看護学会
本多直子・助教	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
本多直子・助教	長崎県看護学会学術集会抄録査読員	長崎県看護協会
佐々木規子・助教	理事	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	遺伝看護実践推進委員会	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	専任査読委員	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	教育推進委員会	日本人類遺伝学会
佐々木規子・助教	遺伝看護委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	遺伝教育委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	編集委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	理事	長崎県母性衛生学会
加藤千穂・助教	日本助産学会用語集委員会	日本助産学会

加藤千穂・助教	日本助産学会若手研究者ネットワーク	日本助産学会
---------	-------------------	--------

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宮原春美・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 青年期発達障害者の性における対人教育プログラム開発に関する研究
江藤宏美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・基盤研究 B 早産児から1歳までの睡眠発達のディベロップメンタル指標の検討
江藤宏美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 周産期におけるレストレスレッグス症候群の影響と生理学的実態の解明:前向きコホート研究
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 A テーラーメイドな出産・育児を促進するオキシトシン活性化プログラムの開発と普及
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 B 実践を変革する母乳育児支援専門家教育プログラムと配信システムの開発
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 C 尿失禁を予防する助産ケアのプログラム開発
永橋美幸・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究補助金 基盤研究 (C) 妊婦の腹部を介した胎児へのタッチングと胎児愛着との関連～オキシトシンの推移から～
森藤香奈子 ・准教授	日本学術振興会	代表者	基盤研究 (C) 2016年4月～2020年3月 課題名「小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究」(研究代表者)
森藤香奈子 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 2017年4月～2020年3月 ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討
本多直子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 思春期慢性疾患患者の復学支援アセスメントツールの開発
本多直子・助教	日本学術振興会	分担	小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究
佐々木規子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 島嶼部、過疎地の看護職者のための遺伝教育プログラム開発に関する研究
佐々木規子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 臨床遺伝看護分野の継続教育プログラム開発
佐々木規子・助教	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究 出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究
加藤千穂・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・若手研究 B ウィメンズヘルスにおけるレストレスレッグス症候群の実態と関連要因の探索

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
大石和代・教授	非常勤講師（母性看護学）	島原市医師会看護学校
江藤宏美・教授	非常勤講師（PIC:周産期集中ケア特論Ⅱ）	聖マリア学院大学
永橋美幸・准教授	実習指導者会講習会「助産師課程」	
佐々木規子・助教	非常勤講師（遺伝カウンセリング）	長崎市医師会看護専門学校
佐々木規子・助教	非常勤講師（母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ）	島原市医師会看護学校
佐々木規子・助教	非常勤講師（医療遺伝学，女性健康看護学演習）	甲南女子大学